



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

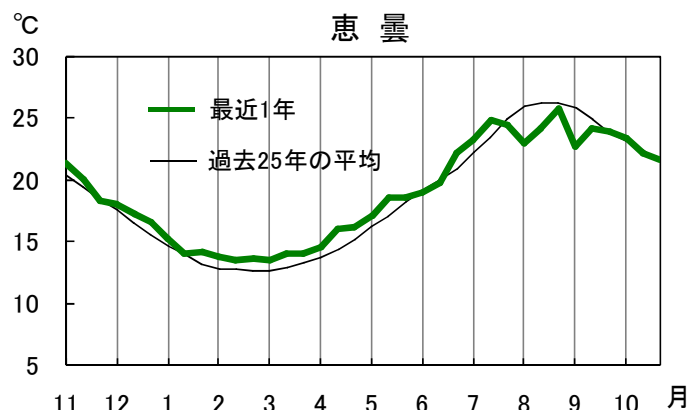
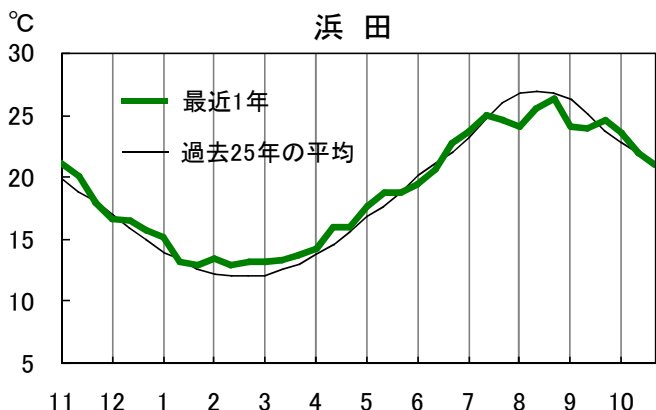
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9-10月の海況》

9月	月平均	平年差	評価
浜田	24.1℃	-1.0℃	やや低め
恵曇	23.4℃	-1.3℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田では9月上旬～中旬は「かなり低め～やや低め」でしたが、9月下旬以降は「やや高め～平年並み」で経過しています。恵曇では9月上旬は「かなり低め」でしたが、9月中旬以降は「平年並み」で経過しています。



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況で総漁獲量は平年の2.5倍でした。マアジは1歳魚が主体に漁獲され、その漁獲量は平年の2.8倍でした。西郷地区ではマアジ、マイワシが主体で、浦郷地区ではそれらに加えてブリが主体の漁況で、総漁獲量はそれぞれ平年の1.7倍及び1.8倍でした。なかでもマイワシは散発的ですが平年を上回る好調な水揚げが続きました。どの地区でもマアジの漁獲量が平年を上回ったこと、また、県東部でマイワシがまとまって漁獲されたことが特徴的でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁況でした。ケンサキイカの漁獲量は平年の3.5倍で、これまでの不漁が一転し、平年を大きく上回る漁況でした。西郷地区(属地5トン以上)でもケンサキイカ主体の漁況で、ケンサキイカの漁獲量は平年の1.4倍でした。ただ、例年この時期はスルメイカの漁獲も多く、その漁獲量は平年を大きく下回ったため(平年の1割未満)、総漁獲量は平年の8割に留まりました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではケンサキイカ・ムシガレイ主体の漁獲でした。大型クラゲの大量入網を避けての操業となっていますが、1統1航海当たり漁獲量は13.0トンで、平年(過去10年平均)を14%上回りました。ケンサキイカは依然好調で1統1航海当たり漁獲量は平年の2倍、キダイは平年の1.5倍の水揚げとなりました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではケンサキイカ、久手地区ではニギス、ケンサキイカ主体の漁獲でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、両地区とも平年、前年を上回り、好調に推移しました。沖底同様にケンサキイカが好調で平年の2.5～3.2倍、またエチゼンクラゲの多い年に漁獲が増えるイボダイも平年の2.5～2.7倍の漁獲がありました。

【定置網漁業】

石見地区の漁獲量は、1統当りではサワラ類が平年の2.1倍、ブリが2.1倍と好調で、全統の総漁獲量は平年の1.1倍でした。出雲地区の1統当りは、ブリが平年の1.3倍でしたが、マアジが平年の8割、サワラ類が6割と低調で、全統の総漁獲量は平年の7割でした。隠岐地区の1統当りは、カワハギ類が平年の1.3倍、ブリが1.7倍でしたが、マアジが平年の4割、サワラ類が4割と低調で、全統の総漁獲量は平年の7割でした。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は23kgで平年を下回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は22kgで平年並みでした。隠岐地区ではソデイカ、ケンサキイカ、キダイ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は27kgで平年並みでした。どの地区でもケンサキイカが漁獲の主体であったことが特徴的でした。

【平成 21 年 9 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	464 トン	249%	250%	12.9 トン	201%	192%	◎
	西郷	マアジ、マイワシ	4,706 トン	175%	174%	43.6 トン	136%	136%	◎
	浦郷	マアジ、ブリ、マイワシ	2,913 トン	144%	152%	35.1 トン	125%	122%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	466 トン	186%	327%	448 kg	107%	162%	◎
	西郷	ケンサキイカ	26 トン	119%	79%	107 kg	106%	76%	▲
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、ムシガレイ	337 トン	100%	98%	13.0 トン	92%	114%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス、ケンサキイカ	263 トン	119%	118%	740kg	108%	106%	○
	和江	ケンサキイカ	367 トン	134%	126%	791kg	125%	115%	◎
定置網 (大型)	浜田	サワラ類、マアジ、ブリ、ケンサキイカ	43 トン	128%	190%	1,719kg	118%	106%	◎
	美保関	ブリ、マアジ、サワラ類、	65 トン	52%	65%	683kg	55%	60%	○
	浦郷	ブリ、カワハギ類	11 トン	57%	74%	409kg	63%	58%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、ケンサキイカ	19 トン	61%	90%	37 kg	76%	85%	▲
	大社	ブリ、ケンサキイカ、カサゴ・メバル類、ソデイカ	13 トン	111%	134%	23 kg	117%	115%	◎
	西郷	ソデイカ、メダイ、ケンサキイカ	20 トン	104%	140%	41 kg	99%	120%	◎

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下